

1 基本的な考え方

教育基本法並びに関係法令に示された精神に則り、県・市教育委員会の教育行政重点施策・学校教育の重点や児童・家庭・地域の実態に即して、児童の発達と特性に応じた教育を施し、人間形成における基礎的能力の伸長を図る。このため、知育・徳育・体育の調和を図り、本市名誉市民・山本有三の精神である「生命尊重、人権尊重、絆」を基盤に置き、地域と共にある学校をさらに推進し、「たった一人しかない自分のよさをのびのびと発揮し、たった一度しかない一生を自らの意志でいきいきと切り拓く力（生きる力）」を身に付けた児童の育成に努める。

2 教育目標と目指す児童像

教育目標：かしこく やさしく

たくましく 地域とともに

「たった一人しかない自分を

たった一度しかない一生を

ほんとうに生かさなかつたら

人間生まれてきたかいがないじゃないか」 山本有三「路傍の石」より

西中ブロック小中一貫教育（第3期：令和5～7年度）
 <目指す子ども像>
 人間味あふれ、たくましく生きる児童・生徒
 <重点目標>
 ①主体的に学びに向かう子どもの育成
 ②自ら進んで「あいさつ」のできる子どもの育成

教育目標	目指す児童像（人間味あふれ たくましく生きる児童）
かしこく	○ 主体的に学びに向かい、自分の考えを表現しながら、課題解決を目指すことのできる子
やさしく	○ 相手の立場や気持ちを考えて思いやり、互いを大切にしながら周囲と助け合い協力し合って生活できる子
たくましく	○ 自他の生命・安全を大切にするとともに、粘り強くものごとに取り組むことのできる子
地域とともに	○ 地域に誇りを持ち、地域に感謝することのできる子

3 目指す学校像

～ 「学びあい ふれあい 支えあい」子どもも大人も夢を育む学校 ～
 山本有三先生の教えを日々実践する学校

- 確かな学力を身に付け、認め合い、学び合い、高め合う学校
- 明るいあいさつがこだまし、思いやりのあふれる学校
- 安心・安全が保障された学校
- 家庭・地域と積極的に連携し、地域に信頼され地域と共に歩む学校
 ⇒ 一人一人が輝く、みんなで高め合う、今日も来てよかったと思える学校

4 目指す教職員像

- 人間性豊かで信頼される教職員
- 教育的愛情と使命感をもった教職員
- 同僚性を基盤として協働し、積極的に学校運営に参画する教職員
- 児童理解に基づく指導と人間形成に対して深い洞察のできる教職員
- RVPDCAのマネジメントサイクルを実践し、創意工夫する教職員

5 学校経営の基本方針

- ① 知・徳・体の調和のとれた特色ある教育課程を編成し、身に付けさせたい資質・能力の育成を目指した本校ならではの教育活動を展開する。 **(重点1：本校ならではの特色ある学校づくり)**
- ② 授業改善と学業指導の充実を図り、「確かな学力」を身に付け、主体的に学ぶ児童の育成に努める。 **(重点2：確かな学力を育む教育の充実)**
- ③ 望ましい集団活動を通して豊かな人間関係を築くとともに、活力ある楽しい学校づくりに努め、児童一人一人の自己指導能力の育成を図る。 **(重点3：豊かな心を育む教育の充実)**
- ④ 活気ある中にも落ち着いた学校生活に努め、自他の命を大切にすする心の育成、健康・安全に対する意識の高揚を図る。 **(重点4：心身の健やかな成長を促す教育の充実)**
- ⑤ 学校運営協議会・アシストネットを核とした家庭・地域との連携及び小中一貫教育の推進を図り、地域と共に歩む信頼された学校づくりに努める。 **(重点5：地域と共にある学校)**

～「ほめて伸ばす」・「凡事徹底」・「組織で対応」～

6 本年度の重点及び努力点・具体策

(★は小中一貫教育の重点・研究指定)

重点1：本校ならではの特色ある学校づくり

(1) 「生きる力」を育む教育課程の編成

- 育成を目指す資質・能力の明確化
- 全教職員の参画による確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和の取れた教育課程

(2) 特色ある教育活動の推進

- 山本有三先生の教えを実践する学校「生命尊重、人権尊重、絆」
- 地域の特色や資源を生かした本校ならではの教育活動の推進

重点2：確かな学力を育む教育の充実

(1) 基礎的・基本的な内容の確実な定着

- ★ 「とち介の学び」(ゴールを見すえた授業づくり)による授業改善・学習指導の充実
- ★ 学業指導の充実(学習のきまりの徹底)と望ましい学習習慣の形成(家庭学習の工夫)
- 多様な他者と協働して課題を解決できる児童の育成(★グローバル教育の推進)
- 日常の授業における「主体的・対話的で深い学び」の実現(校内研修の活性化)
- 一人一台タブレット端末等ICTの活用と情報モラル・情報活用能力の育成

(2) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実

- UDの視点での授業及び環境づくりと特性に応じた指導・支援の工夫
- 通級指導等、個別対応による指導体制の充実(すくすくシートの活用)

(3) 図書館教育の充実

- 読書の奨励(読破賞・多読賞の実施)と読書習慣(うちどく)の形成

重点3：豊かな心を育む教育の充実

(1) 自他を大切にし、よりよい人間関係をつくろうとする態度を育てる人権教育の充実

- 学年・学級経営の工夫・改善(人権が尊重された雰囲気になった学年・学級づくり)
- いじめ・不登校の未然防止と早期発見・早期対応(組織的・協働的な児童指導体制)
- 教育相談の充実、配慮を要する児童の共通理解と組織的対応

(2) 人としての生き方について考えを深める道徳教育の充実

- 児童の実態に応じた重点項目の設定と実践

(3) あいさつ・返事及び正しい言葉遣いの励行

- ★ あいさつ運動の充実による明るいあいさつのできる児童の育成
- 指名された際の返事と相手を敬う言葉遣い（授業の中でも日常生活からも）

(4) 豊かな体験活動の推進

- 異年齢集団活動（なかよし班活動）の工夫

(5) 勤労の大切さを自覚し、進んで仕事に取り組む児童の育成

- 無言清掃の徹底、係や委員会活動・奉仕活動の充実

重点4：心身の健やかな成長を促す教育の充実

(1) 自ら健康の保持増進に努める児童の育成

- 基本的な生活習慣確立に向けた指導と啓発（手洗い・歯みがき・食育・感染予防 等）
- 食物アレルギー、身体的配慮のある児童等の共通理解
- 養護教諭・栄養教諭等との連携指導（保健・食育指導、学校保健委員会の充実）

(2) 自他の生命を尊重し、主体的に行動できる児童の育成

- 安全に配慮した規律ある行動の徹底（安全教育の充実）

(3) 体力・運動能力の向上

- 楽しく運動量のある教科体育の充実（運動の日常化を目指した教科体育の工夫）
- 運動習慣の確立（休み時間やなかよしタイムの活用）

重点5：地域と共にある学校

(1) 家庭・地域との連携強化

- 基本的な生活習慣の定着（早寝早起き朝ごはん、衛生習慣、食習慣）
- 連絡帳等を活用したこまめな個別連絡（よいことを中心に）
- 家庭との連携・丁寧な連絡による感染症対策の徹底

(2) 地域の教育力・外部組織との連携・協働による教育の推進

- とちぎ未来アシストネット事業・学校運営協議会の積極的な活用による教育活動の充実
- ふるさとへの愛着と誇りを育む「ふるさと学習」の充実

(3) 家庭・地域への情報発信及び要望等の把握と対応

- 丁寧な情報発信（学校・学年・各種通信・学校HP）
- 学校評価やさくら連絡網「保護者連絡」等による要望等の把握と誠実・迅速な対応

(4) 幼保小連携・小中一貫教育の推進

- 小中一貫を見据えた取組の推進（目指す子ども像・重点目標の共通理解、相互交流活動）
- スタートカリキュラムの充実による滑らかな接続
- 情報交換等による実態把握に基づく適切な対応